

平和な日本を実現しよう

日本母親大会 in 和歌山

「核兵器のない世界を」「ジェンダー平等を」と女性たちがさまざまな願いと運動を持ち寄り、学び交流する第69回日本母親大会が9月28日、29日に和歌山市で開催されました。今年にはビキニ水爆被災70年。東京都立第五福竜丸展示館学芸員の安田和也さんが記念講演しました

昭和29年3月1日、未明、アメリカは太平洋のマーシャル諸島にあるビキニ環礁で水爆実験を行いました。この実験によって、約160Kメートル離れたところにいた焼津のマグロ漁船、第五福竜丸の乗組員23人が白い粉(死の灰)を浴び、被爆しました。やがて皮膚が黒くなり髪の毛が抜け……。この年の9月に乗組員(久保山愛吉さん)が亡くなりました。他の乗組員も次々に体調が悪くなっていきました。この実験で992隻の船が被爆をしました。

水爆実験で放射能に汚染されたマグロは「原爆マグロ」とよばれ、全く魚が売れなくなりました。杉並の魚屋さんたちが「これは大変だ、原水爆禁止署名を集めよう」と立ち上がり、すぐにその活動が大きく広がり、第1回原水爆禁止世界大会や日本母親大会が開かれたと今までの歴史を話しました。

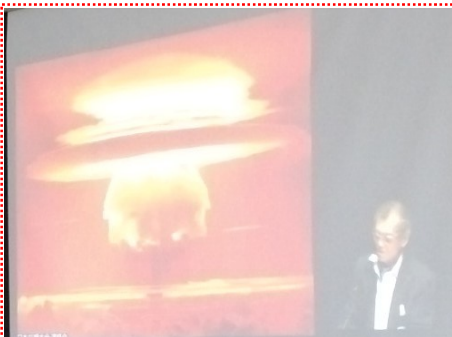
アメリカ、ソ連も競って2060回以上核実験をやった。動物や兵隊を現地に送り、被爆をさせ、その後どうなったかをデータをとっていたという話にはゾッとしました。がんや障害が出て、兵隊には補償をしたが先住民には補償はなし。大国の身勝手さに腹が立ちます。

第五福竜丸の乗組員の久保山愛吉さんは「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言って亡くなりました。

「核兵器は人間を幸せにしない」これからも核兵器を廃絶するまで頑張らなくてはと思います。

第五福竜丸も原爆ドームを守ったように残そうと江東区の人たちが補修をして夢の島に展示してくれた事に敬意を表します。みんなで見学に行きましょう。

安田さんの話はとても丁寧で分かりやすかったです。被爆者の死に涙をこらえて話されたことは印象的でした。葛飾民商から2人参加しました。



↑大きなスクリーンに写真やグラフを示しながら
↓最後にみんなで集合写真!



ノーベル平和賞受賞

「核兵器の禁止」「被爆の体験」を世界に訴えてきた日本被団協の方々がノーベル平和賞を受賞しました。毎年候補に挙がりながら受賞できませんでしたが、今年はやっと受賞することが出来ました。

被爆の後遺症に苦しみながら核廃絶を訴え続け、被爆体験を聞いた若い人たちが高齢になった被爆者の代わりになって世界に訴えてきたこと、草の根の運動が評価されました。

「ノーモアヒロシマ」「ノーモアナガサキ」「ノーモアWAR」



10月の絵手紙教室
10月15日(火) 午後1時半から

今日は最初に、カレンダーを今年も作るかどうかみんなで話し合いました。「今年も作りましょう!」ということになり、今まで描いたものの中からそれぞれ選び「これ誰が描いたの」「これ〇月のカレンダーにすれば」と推薦もありました。まだ途中ですが来月半ばまでに仕上げることにしました。

次回は11月18日(月) 1時半から

ジェンダー学習会 延期になりました

講師の都合で11月10日(日)に延期になりました。出席を予定されていた方、直前の変更に申し訳ありません。

11月10日(日) 午後2時から4時まで
場所 民商会館2階 新しいチラシを配布します。皆さん誘い合って参加してください。

編集後記

日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことに日本中が喜びました。被爆者の方々が学校や世界に被爆をしたらこうなると訴えてきた事が認められました。「亡くなられた人たちに報告をしたい」と涙ながらに話す姿に感動しました。受賞したことで、核廃絶の運動が世界に大きく広がることを願います。

さあ、衆議院議員選挙が始まりました。私たちが政治に参加する絶好のチャンスです。裏金問題、消費税(インボイス)、原発、憲法、ジェンダー、争点はたくさんあります。自分で考え大事な1票を無駄にしないように投じましょう。 K

